

学科近況

昨年度に引き続き今年度もコロナ禍の中、保護者の皆様には遠隔授業等へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。年間の授業のうち約3分の2を遠隔授業で対応せざるを得なかった昨年度に比べ、本年度はいろいろな制限下ではありますが、対面授業を主体に授業を実施することができました。また、学校行事や課外活動についても、少しずつではありますが実施できてきました。昨年度に比べ本年度は学生の活気が戻った学校になっています。本科5年生と専攻科2年生にとっては、高専生活も残りわずかとなってきましたが、コロナ禍における様々な経験を今後の進路に活かすためにも、より充実した学校生活を送れるようにサポートしていきたいと考えています。落ち着いているとはいえ、まだまだ予断の許さない状況ではありますが、どんな状況にあっても学生の「学習する権利」を守るため、より安全で効果的な対面授業や遠隔授業のあり方についてメディア情報工学科でも検討し実行してまいりますので、より一層のご理解とご支援をお願いいたします。

(学科長：伊波 靖)

各学年の話題（1年生）

2021年度1年学科担任となりました當間と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。

今年度、1年生は44名(休学1名)が在籍しています。1年生の多くは、中学時代とは違う90分間の講義や初めての寮生活に苦労した様子でしたが、今では沖縄高専での生活に慣れた様子が見られます。コロナ禍において昨年度と同様に、学校行事の休止や課外活動の制限が続いておりましたが、対面授業を主体に講義を実施することができました。後学期からは通常の学生生活が戻ってきており、昨年は中止した高専祭が無観客ではありますが開催されました。

本科卒業までの5年という長い学生生活の中で学生自身の希望や考えが変わることもあるかと思いますが、学生一人一人がより良い将来を追求できるよう協力していきたいと考えています。保護者の皆様におかれましても、お子様のこと、学科や学校に関する事で相談がありましたら担任までご連絡下さい。

(1年学科担任：當間 栄作)

各学年の話題（2年生）

令和3年度メディア情報工学科2年生学科担任の與那嶺尚弘です。よろしく願い申し上げます。今年度、2年生は39名が在籍しています。昨年度は新型コロナウイルスの影響で遠隔授業や部活動の活動制限などで、通常の学生生活を送ることが困難でした。今年度も遠隔授業の期間はありましたが、新型コロナウイルスの感染者数が減少とともに沖縄高専の日常が戻ってきました。対面授業再開当初は生活のリズムが戻らず苦労する学生も見受けられましたが、徐々に落ち着いてきたようです。専門科目の内容が高度になるため、2年生は不安を抱える学生も出てきます。学科のことや学生の様子で気になることがありましたら学科担任までご相談ください。

(2年学科担任：與那嶺 尚弘)

各学年の話題（3年生）

気が付けば4月からもう8ヶ月が経過しており、2021年はあと1ヶ月で終わろうとしています。時が経つのは本当に早いものです。

さて、これまでの間に定期試験は3回目まで終了いたしました。はっきり申し上げて、今年度のメディア3年生の多くは、進級が危ぶまれております。ご存じの通り、3年生から4年生に進級するためには、①2年生までの全ての科目の単位を修得している、②3年生の科目で落とせる単位は「4単位まで」、③3年生の「特別活動（LHR）」に合格している、という3つの条件を全てクリアしなければなりません。進級が厳しいと思われる学生の特徴は、①未提出課題が多い（教員からの再三の催促も無視する）、②しっかり試験対策のためのスケジュールを組んで十分に勉強してから定期試験に臨まず、多くの科目で赤点（60点未満）を取っている、③生活リズムが崩れがちで頻繁に遅刻・欠課・欠席している、などが共通しています。我々教員も補講や追加の課題、再試験などで対応し、出来る限り学生たちが進級できるようにサポートしています。しかし、我々は「無」を「有」にすることはできません。課題やレポートなどが何度催促しても提出されなければ評価できません。前学期総合成績を基にシミュレーションした結果、多くの科目の単位を修得できない可能性が高い学生には個別に注意いたしましたので、学生がご家庭に戻られた際には、是非、生活リズムを崩さないようにすることと、空き時間に勉強する習慣を付けるよう、保護者の皆様からお話しして頂けるならば幸いに存じます。

それから、2021年11月30日（火）と12月1日（水）に就職活動の前哨戦となる「業界研究会」がオンライン開催され、4年生のみならず、3年生にも参加を呼びかけています。就職なんてまだ先、進学だから関係ない、などと考えている学生は、就職活動本番で出遅れたり、失敗したりする可能性があります。4年生に進級後すぐの6月くらいまでには、例年通りならば、就職にも影響するインターンシップ研修先を決定することになります。

今のうちから、しっかりと自身のキャリアパスについて良く考えられるようにするために、出来る限りの情報収集をする必要があります。また、進学を考えている学生であれば、そろそろ進路先を選び、学力選抜を受けるつもりならば、過去問を取り寄せて自分の実力に合っているのかどうかを確認しなければなりません。そのマッチング結果に合わせて、今から受験勉強をしていく必要があります。就職と進学、どちらを選択すべきか、じっくり学生自身に考えて頂きたいのはもちろんのことですが、是非、学生が帰省された時には、保護者の皆様にも学生がどのような将来像を描いているのかを聞いて頂きたいと思えます。

（3年担任：佐藤 尚）

各学年の話題（4年生）

インターンシップについて

2021年度のインターンシップの授業は、新型コロナの影響により昨年度に引き続き多くの制約を受けることになりました。セミナーはすべてが遠隔実施となり、中心的行事であるインターンシップも遠隔実施のみが許可されることになりました。結果、32名が17の事業所（セクション）で実習を受けました。外部講師によるセミナー（自己分析セミナー、身だしなみ・マナーセミナー等）は遠隔で3回実施されました。また11月30日（火）と12月1日（水）には合同業界研究会が開催され、4年生はインターンシップの授業の一環として参加しました。今後、遠隔でインターンシップを受けることができた学生は実習報告書を、また対面での実習が中止になった学生は自己分析および企業等分析をレポートにまとめる予定です。学ぶ機会としては限定的なものとなりましたが、このような時にこそ、本質的に重要な事柄を見抜き、効率的に学んでもらいたいと考えます。お世話になった、事業所ならびにスタッフの皆様、またセミナーの外部講師の皆様にお礼を申し上げます。

（4年副担任・インターンシップ担当：西村 篤）

各学年の話題（5年生）

4年前の4月に入学してから早いもので、高専での授業も残り1ヶ月あまりになりました。新型コロナウイルスの影響で、今年の高専祭は「無観客開催」となりましたが、最後の高専祭が充実したものとなるよう、チームワークを活かし、映像作品の制作に取り組みました。

5年生は現在、卒業研究の総仕上げで忙しい毎日を送っています。卒業研究の最終発表は1月下旬に実施予定です。卒業論文の提出は2月上旬の予定ですが、でこれまでにメディア情報工学科で学んできたことの総仕上げとして、よい卒業研究となるよう期待しています。

別途案内があるかと思いますが卒業式は3月12日（土）に予定されています。4月からは進学先、就職先で新たな生活が待っています。それまで、引き続き新型コロナウイルスの感染予防対策をしっかりとして継続して行いながら、安全に充実した高専生活を過ごして欲しいものです。

（5年担任：鈴木 大作）

専攻科の話題（情報工学コース）

今年度も新型コロナウイルスの影響は大きく、遠隔と対面を併用しながら講義を行うこととなりました。

メディア情報工学科の延長に当たる専攻科情報工学コースには1年に4名、2年に3名の学生が所属していますが、全員、本科よりも高度な専門科目を学びながら特別研究をがんばっています。1年生は特別研究IAの発表が無事終了し、2年生は学位取得に向けて準備を行っています。特に2年生は最終学年になりますのでこの調子で頑張ってもらいたいと思います。

（コース副主任：玉城 龍洋）

その他学科内の話題

部活動

第61回沖縄県吹奏楽コンクール

本学科学生の古謝 羽咲さん（2年・トロンボーン）、砂川 虎南さん（2年・ユーフォニアム）、高里 奏絵さん（4年・打楽器）、山城 菜香さん（5年・トランペット）の4名が本校楽器部の部員として大学の部Bパートに出場し、団体として奨励賞を受賞しました。



編集後記

皆様、よい新年をお迎え下さい。学科だよりに関するご意見ご要望等がございましたら、下記連絡先までお知らせください。

編集担当者連絡先：

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905

沖縄工業高等専門学校

メディア情報工学科 西村篤

TEL 0980-55-4003（代） FAX 0980-55-4012（代）